迎春

年頭のごあいさつ

新春座談会 「辰年」揺れ動く変化の年！

中札内村が目指す10年後のまちづくり

2012年の空へ

未来への思いを込めた連凧

1

2012年 NO.669

平成24年1月1日発行

発行／中札内村役場総務課
企画財政グループ

年頭のごあいさつ

住んでみたい、住んでよかったと実感できる村づくりをめざして

村長
田村光義

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には、すがすがしく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、東日本大震災など、国内外で史上まれにみる大災害が発生した年でした。犠牲になった多くの方々、今なお避難生活を余儀なくされている皆様に、心からお見舞い申し上げます。

一方、2011FIFA女子ワールドカップでサッカー女子日本代表が初優勝し、日本中が喜びに沸きました。

また、大きな出来事としては、テレビはアナログ放送が終了し地上デジタル放送に移行。道内では、道東自動車道夕張・占冠間が開通し、十勝と道央・道南圏が全線高速道路で結ばれました。

村内では、8月にadidasCUP2011日本クラブユースサッカー選手権大会が交流の杜で開催され、全国から将来のJリーガーを目指す少年たちが訪れました。12月には市街地区でフレッツ光がサービス開始になり、情報通信基盤が充実しました。

また、ヴィレッジときわ野は好調な売れ行きで、移住される方が増加しました。

国勢調査では人口4000人を回復し、近年減少が続いていた出生数も23年度は増加に転じると予測しています。

農業生産は、9月の大雨の影響により、豆類に被害が発生しましたが、その後天候に恵まれ、主要作物の多くは収量・品質で平年を上回りました。粗生産高は、史上最高の105億円を超え、懸命に努力されました生産者の皆様をはじめ、関係機関の方々のご労苦に対しまして、敬意と感謝を申し上げます。

今年は、公共施設では15年ぶりの大きな事業として、中札内保育所の移転改築を計画しています。また、川越市との友好都市盟約締結10周年を迎えます。

大震災からの復興、社会保障と税の一体改革など、国、地方を取り巻く環境は厳しさを増していますが、村民の皆様との協働を基本としながら、「住んでみたい、住んでよかったと実感できる村づくり」を目指し、職員と一丸となって努力して参ります。

新しい年を迎えるにあたり、村民の皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、村づくりに一層のご支援、ご協力をお願いし、年頭のごあいさつといたします。

平成23年を振り返る

中札内村では、昨年もさまざまな出来事がありました。
皆さんにとって、平成23年はどのような年でしたか？

- 1・12 麻生和子さん(6区)が、人権擁護委員としての功績を称えられ法務大臣感謝状を授与
- 1・29 全国中学校スケート大会に戸水かんなさん（中中2年）が出場
- 2・2 故太田一良氏が特旨叙位(従五位)を受章
- 2・9 国勢調査速報　村の人口が4千人を突破
- 3・30 故小山秀豊氏が特別叙勲(旭日単光賞)を受章
- 4・1 まちづくり基本条例一部改正
- 4・19 村議会議員選挙　8人が無投票で当選
- 5・22 札内川園地開園40周年記念植樹会を開催
- 5・30 六花亭製菓、大林組、中札内村が日本建築学会賞を受賞
- 7・3 第40回ピョウタンの滝やまべ放流祭　2千人来場
- 7・5 農業委員会委員選挙　9人が無投票で当選
- 7・10 第8回北の大地ビエンナーレ展覧会（〜8・7）
- 7・14 中札内消防団北海道消防操法訓練大会で準優勝

年頭のごあいさつ

村の発展と人間性豊かな住みよい村づくりを

議　長
髙　橋　和　雄

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には、ご健勝にて新春をお迎えのことと心よりお喜びを申し上げます。

昨年4月の村議会議員改選では、新人候補4名を含め、立候補者8名による無投票当選が決定し、新体制で議会運営を進めています。議会活動に対してご理解とご協力をいただいていることに対し心よりお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと3月11日に東日本大震災がありました。マグニチュード9の大地震のあと、10メートルを越える津波が街を呑み込み、多くの犠牲者を出したことは、自然の恐ろしさをまざまざと見せつけるものでした。加えて、福島原子力発電所の原子炉まで崩壊し、多くの方がいまだ家に帰ることができない状況です。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

村内では、基幹産業である農業において、粗生産高が過去最高の105億円を超えたとの報告がありました。春先の蒔き付けが遅れましたが、天候がおおむね順調に推移したことが好成績になったのだと思います。生産者を始め、関係機関の方々に敬意を表する次第です。

また、11月には「中札内村商工会50周年記念の集い」が開催されました。商工会を取り巻く状況は厳しいものがありますが、「道の駅」を核に役員を中心として一層の努力を頂き、村の発展に一役買っていただくことを期待しております。

政府も新しい体制に変わり、村の存続に影響を及ぼすことが危惧される「TPP」への参加協議に入ることを表明しました。村及び議会は参加に反対の立場を取っていますが、今後も声を大にして行かなければなりません。この事を含め、私たちを取り巻く情勢は、今後どのように変化していくのか予測が付かない状況にあります。私たち村議会議員もこのような状況を踏まえ、村の発展のために、その責務を傾けたいと考えているところです。

今後とも村議会に対しご支援とご協力をお願いするとともに、本年が村民皆様にとって幸多き年になりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

7・20　花フェスタ開催（～8・10）　期間中1万7千人来場
8・5　交流広場ふれあいまるしぇオープン
8・14　adidas CUP 2011日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会が交流の杜で開催（～8・23）
8・26　戸水里紗さん（めぐみ区）、舩戸優依さん（北1区）、佐藤楓花さん（6区）が所属している帯広北高校チアリーディング部「ブルークローバーズ」が、2年連続でジャパンカップに出場（～8・28）
9・8　全国えだまめサミットin十勝2011開催（～9・9）
9・26　村上知亜砂さん（ひばりヶ丘）が、神戸ビエンナーレで奨励賞を受賞　作品展示（10・1～11・23）
10・27　㈱六花亭北海道がふるさと企業大賞を受賞
10・29　村内で交通死亡事故発生　死亡事故ゼロの記録が846日でストップ
11・12　消費者協会30周年記念式典を開催
11・18　中西千尋さん（上札内）が、全国社会福祉協議会会長表彰「民生委員・児童委員功労表彰」を受賞
11・21　中札内村商工会設立50周年記念の集いを開催
12・1　フレッツ光サービス開始（市街地区）
12・7　大石真二さん（2区）が、公平委員としての功績を称えられ総務大臣表彰を受賞

中札内村が目指す10年後のまちづくり

平成24年新春座談会
「辰年」揺れ動く変化の年！

今年の干支は辰です。辰にてへんをつけて「振」、「揺れ動く変化の年」といわれているようです。
本年が、昨年の東日本大震災に見舞われた方々の一日も早い復興（変化）の年になれば良いと願っています。
今年の座談会は、「中札内村が目指す10年後のまちづくり」をテーマに、村の現状と将来に思うことを語っていただきました。

●座談会出席者
納谷　隆さん
井脇　美幸さん
大島　克仁さん
中川　真奈さん

●司会
中札内村長
田村　光義

村長　明けましておめでとうございます。本日はお忙しい中、新春座談会にお集まりいただきありがとうございます。
　今年の座談会は、干支が辰なので、年男・年女の方に声をかけさせていただきました。今回は「中札内村が目指す10年後のまちづくり」と題して、現在の中札内村と10年後に思うこと、また、将来のまちづくりについて思うことを話していただきたいと思います。

現在の村を見て思うことは？

村長　子育てや商業、農業などさまざまな分野で話していただきたいと思いますが、現在の中札内村をどのように思っていますか。

井脇　村では、高校生に対して、バス賃や私立高校授業料への助成金給付制度があって大変ありがたいのですが、できれば所得制限なく、みんなに助成していただけると、夢を持った子どもたちが行きたい学校に行けるようにもなるのではないかと思います。
　そして、バスをもっと利用した方が良いと思います。バスに乗ることによって広尾線の存続にもつながり

ます。車を運転しない子どもやお年寄りには必要不可欠なので、廃止しないでほしいと思っています。

　また、中札内～上札内市街を往復している「乗合タクシー」が、あまり知られていません。特に村外から転入してきた方に伝えて、利用していただければ良いと思います。

村長　高校生に対する助成金給付制度については、議会や住民の方と論議した上で始めたことなので、今すぐに変えることはできないです。また、皆さんから相当な意見をもらわないと難しい面があります。

　広尾線のバスは、一昨年から赤字が出て関係する市町村が負担しています。今後、関係市町村で話し合っていかなければなりませんが、負担が出ても最後まで守るべきものと考えています。

　乗合タクシーはＰＲして、できるだけ多くの人に乗っていただきたいと思います。

井脇　高規格道路が、広尾まで開通したとき、中札内村が単なる通過点になってしまわなければ良いなと思っています。

納谷　日高自動車道にある鵡川インターチェンジでは、降りる手前に道の駅の看板を設置しています。

　中札内インターチェンジでも途中で降車してもらえるように、道の駅等に誘導する看板の設置を要望すれば良かったと思います。事前の説明会では、高規格道路に看板を設置できることを知りませんでしたが、そういう工夫をすることも必要であったと思います。

井脇 美幸さん（上札内）

帯広市出身で、結婚を機に中札内村へ移住。上札内で井脇商店を家族で経営。趣味は音楽鑑賞。

村長　現在でも高規格道路の利用者は、７割の人が中札内市街を通らないで広尾方面に向かいます。

　道の駅は昨年も多くの方が来て、出店している方にも頑張っていただき、入込数と売上数ともに、高規格道路が開通したピーク時と同程度で推移しています。

　高規格道路が更別まで開通した時、村に来る人が減るのではないかと皆さん心配していますが、私は心配していません。それは観光施設が複合しており、物産の販売など魅力がたくさんありますので、村の観光自体は力があると思います。

　しかし、同じことをやっていてもダメだと思います。今後は、村のイベントを工夫することや、今までと違う商品を提供することによって村に呼び込むことが必要だと思います。

納谷　村に移住してきた方と話す機会がありますが、北海道の冬の厳しさなど、生活する上でのちょっとした事でも移住後の相談が気軽にできると良いと思います。

　現在、交通指導員をしていますが、タバコを吸いながら携帯電話をもって運転している人を見かけますので、とても危険だと思います。

　また、村内の道路上では、シカやキツネに出会うことが増えましたので、気を付けないと事故につながります。冬道にも充分気を付けて運転してほしいです。

村長　村の情報発信が足りないかもしれませんが、他の市町村と比べて、窓口対応と住む条件が良いという理由で村を選択していただいています。

　シカの駆除は猟友会が行っていますが、仕事をもっている方が多いので、農家の皆さんにワナを仕掛けていただいて、捕獲した後始末は猟友会が行うというシステムを村で実施しようと考えています。

中川　私は昨年の４月に中札内村農協に就職しました。村に転入して感じたことは、国道沿いに店はたくさんあるし、人も村にしては歩いているので、活気がある村だと思います。

　ピョウタンの滝など自然環境に恵まれていますし、中札内村の自然を見るために来る観光客もたくさんいると思うので、そういうところをもっと活かしていったら良いのではないかと思います。

村長　活気がある、自然環境や人が歩いているなど、村が目指しているところを見ていただきありがとうございます。

大島　中札内村は、とっても住みやすい場所です。また、村の活性化に対しても一生懸命頑張っていると思います。

ＴＰＰ（環太平洋連携協定）の参加については、経営する立場から言うと、今作っている作物が、今後作れなくなったときに、どうしたら良いのかということが課題だと思います。現在、枝豆はみんなが作っているし、私のところでは山ごぼうを作っています。

村の農業を守っていくためにも、農作物などについて行政がアピールしていただければありがたいと思います。

村長　頑張っているといっていただきありがとうございます。

村は自律を選択し、皆さんにも我慢していただいて、子育てと定住支援にお金を使わせてもらっています。５年に１度行われる国勢調査では、人口が４０００人に回復しました。これは、枝豆工場の拡張により職員が増えたこと、分譲地が順調に売れていることなどが人口増加の要因と考えられます。

ＴＰＰは、米に重点が置かれていて、中札内村のような大型の畑作や酪農には目が向けられていないように感じます。

納谷 隆さん（上札内）

中札内村出身で、平成17年４月から道の駅なかさつないで「豆キッチン」を経営。

将来のまちづくりに向けて

村長　10年後や将来のまちづくりについて話しを聞かせてください。

納谷　将来のまちづくりは、人づくりでもあると思います。

子どもたちの基本的な行動に疑問を感じることがあります。あいさつや一般常識、生きる力を育ててほしいです。

また、村には公園や広場が整備されているので、それを活用して潤いのある生活ができるような村であってほしいと思います。

大島　子どもの教育について、小学校に行くと先生と子どもが友達みたいに話しています。先生も子どもに怒れないという部分はあると思いますが、そういうところをしっかりした方が良いと思います。

村長　子どもたちの教育についてですが、一昨年から共育の日を制定しています。

これは、子ども一人ひとりが、社会の中で義務や責任をしっかりと果たしていける大人になるよう、また、将来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ心豊かに「生きぬく力」を身につけられるよう、地域の子どもは地域で育てる意識を持ち、家庭、学校、地域が一体となって教育に関する関心と理解を深め行動することを目指して始めています。

こうした取り組みによって、子ど

大島 克仁さん（南常盤）

中札内村出身で、現在、南常盤で農業を経営。趣味は農業。

もに生きていく基礎力、常識、礼儀などを教えて、10年後には「中札内村から育った子はきちんとしている」という声が多くなれば良いと思っています。

井脇　10年後といえば、今の小・中学生が社会に出ているころだと思うので、学校の先生も含めて良い指導者が多くいたら良いと思います。

村長　学校については、できるだけ正常化に努めていきたいと思っています。

　今年度から更別と連携し、学校教育の指導に関する専門的職員として「指導主事」を置いていますので、教育委員会と連携して学校の問題点を洗い出し、問題があれば解決していこうと思っています。

大島　今の住みやすい中札内村を10年後もそのまま維持できるように、村づくりをしてほしいです。

中川　今の住みやすい村の環境などをアピールして、全国的に名が知れる村になれば良いと思います。

村長　村の全国的なアピールですが、最近の観光は高齢者が多く、B級グルメなどの食べ物が受け入れられているようです。中札内村にはこういった中心となるものがないのだとすれば、探して売り出すことによって、改めて注目されるのではないかと思っています。

中川 真奈さん（5区）

帯広市出身で、昨年4月就職を機に中札内村へ移住。現在、中札内村農業協同組合販売促進部に勤務。趣味は料理。

井脇　上札内地区のことを忘れないでほしいです。

　上札内は土地が安く、家を建てる方もいますが、もっと若い人が増えたら良いと思います。また、企業誘致や小規模小学校の良さをPRするなど考えていただきたいです。

　また、公民館の充実や有効利用について、改築を含めて考えていただきたいと思います。

　観光客を維持するために、魅力あるまちづくりと、道の駅の人気を維持していくにはどうしたらいいのかを考えていかなければならないと思います。

村長　企業は、誘致運動で中札内村に来るという経済状況ではないので、難しいとは思います。

　土地や住宅については、個人所有のため不動産業のようなことはできませんが、空き情報は、ホームページや窓口で紹介していますので、売っても良いという方がいれば情報の提供をお願いします。このようなことに地道に取り組んでいくことが良いのかと思います。

　また、小規模小学校の良さ、北海道の環境の良さなどをうまく絡めてPRしていけば良いかなと思います。

　公民館の改修は、来年度に検討いたします。大地震に耐えられない建物なので、耐震工事を基本として、村では唯一の宿泊機能を継承しながら、施設機能の見直しも含めて地域の人と話し合い、進めていきたいと思っていますので、ぜひ会議に参加していろいろな角度で意見をいただければありがたいです。

納谷　村は、10年経過したら超高齢社会になるのではないでしょうか。

村長　子育て支援の効果により、出生率が高く、中札内保育所では定員を超え、上札内保育所に入ってもらっている人もいます。また、高等養護学校があるため若干高齢化率を下げています。役場や農協にも若い職員が入ってきています。ときわ野でも若い人が多く、働き盛りの人が入ってきています。

　今後、間違いなく高齢化率は高くなっていくと思いますが、他よりは遅いです。

　今日はお忙しい中、皆さんから中札内村に思うことをさまざまな角度から話をしていただき、ありがとうございました。

　今日の話の中で改善できるところは改善して、将来のまちづくりを進めていきたいと思います。

地域包括支援センター主催

高齢者虐待について講演会を開催

村地域包括支援センターでは、11月29日に、地域包括支援センター帯広至心寮の坪井一身氏を講師に迎え、「高齢者虐待について考えよう」をテーマに講演会を開催しました。

「高齢者虐待防止ネットワーク会議」の関係者等54名が参加し、虐待の種類や特徴のほか、事例を通してグループ討議するなど、正しい知識を学びました。

講演では「住民の方や関係者は通報の義務があり、市町村や地域包括支援センターには対応する責務がある」「虐待かどうかを見極める必要はなく、気になる高齢者がいたら相談しよう」「結果的に虐待ではなかったとしても通報したことに対して責任を問われることはない」ということなどが話されました。

参加者は「虐待者の約半数が自覚がないことに驚いた」「各家庭のやり方だと思うことも、虐待の芽になっているかもしれないことに気付かされた」「通報・相談の重要性がよく理解できた」などと話していました。

坪井氏から講演で話された通報・相談のポイント

- 「虐待になる前に」相談しよう
- 「虐待かもしれない」から相談しよう
- 「支援が必要」だから相談しよう
- 「気になる高齢者」がいたら相談しよう
- 時間の経過による「情報のずれ」を防ぐためにも、すぐに知らせることが大切！

全国社会福祉協議会会長表彰

中西千尋さんが民生委員・児童委員功労表彰を受賞

平成23年度全国社会福祉協議会会長表彰のうち、民生委員・児童委員を永きにわたり務められ、その功績が顕著な方に贈られる「民生委員・児童委員功労表彰」を、中西千尋さん(上札内)が受賞され、11月18日に東京都の日比谷公会堂で表彰されました。

中西さんは、昭和55年から30年間にわたり中札内村民生委員・児童委員として務められ、平成元年以降は、民生委員会長となり村の民生委員のまとめ役としてご活躍されています。

この受賞に際し「皆さんの協力によって、民生委員を長い間務めることができました」と話してくださいました。

公平委員会制度60周年記念

大石真二さんが総務大臣表彰を受賞

公平委員会制度60周年を記念して、公平委員会の委員又は職員として永きにわたり務められた方に贈られる「総務大臣表彰」を、大石真二さん(2区)が受賞されました。

大石さんは、昭和58年に中札内村公平委員会委員に就任以来、平成21年までの永きにわたり村職員の給与、勤務条件に関する措置要求の審査及び不服申立てに対する裁定等の公平委員会業務にご尽力され、平成5年以降は、委員長として委員会の適正かつ公平な運営に務められました。

12月7日、総務大臣に代わって、田村村長から大石さんに表彰状が伝達されました。

行政区と連携し、村づくりを進めます

第2回行政区長会議を開催しました

平成23年度の第2回行政区長会議を、12月2日改善センターを会場に開催しました。

はじめに、田村村長から今年度のまちづくりを振り返りながら、予算の執行状況などについて状況報告を行いました。

続いて、村からの報告事項として、各担当課から今年度の除雪計画やエゾシカ駆除について説明を行ない、各区長からは地域での問題点に対する意見、提言などが出され活発な議論が行なわれました。

なお、今回の会議の主な質問、意見と回答内容は次のとおりです。

●村政全般に対する意見交換

【意見】ゴミの不法投棄について、場所によってテレビ、タイヤ、雑誌類、弁当くずなど酷い。畑に入っている場合もあり、景観の面からも看板を立てるなど対処をお願いしたい。

【村】春先の空き缶拾いの際に大型のものは引き上げているが、空き缶拾いから外れている路線については現状確認が出来ていないので、現地を教えていただけるとありがたい。確認してあまりにも酷ければ効果的な対処法を考えたい。

【意見】道の担当かと思うが、国道から道道に入る歩道の部分、除雪はされているが、子どもが歩くには十分ではないと感じる。そこだけ丁寧にとはいかないと思うが、子どもが増えてきているのでご配慮願いたい。

【村】いろいろと要請はしているが、通学路になっているという事を含め、改めて国に要請していく。

事業所の皆様へ

「平成24年経済センサス－活動調査」にご協力をお願いします

●経済センサスとは？

「経済の国勢調査」です。全国すべての企業・すべての事業所が対象です。

この調査は、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の状況を全国的及び地域別に明らかにするとともに各種統計調査の基礎となる母集団の整備を図ることを目的としています。

●調査の方法

調査は、「調査員による調査」と「国・都道府県及び市による調査」の２つの方法で行ないます。支社等のない事業所及び新設された事業所については都道府県知事が任命する調査員が直接訪問して調査します。

（支社等とは、本社等が統括している事業所のことをいいます。）

●調査項目

経営組織、事業所の開設時期、従業者数、事業所の主な事業の内容、売上及び費用の金額、事業別売上金額などを記入していただきます。

なお、みなさんに安心して回答していただくため、調査を実施する関係者には統計法により守秘義務が課せられています。また、調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）に使用することはありません。

●調査のスケジュール

平成24年１月末日まで

～調査票への記入依頼、調査票の配布

平成24年２月から

～調査員が調査票を回収

※調査の基準日は平成24年２月１日です。調査票への記入は２月１日現在でお願いいたします。

後期高齢者医療制度のお知らせ
～ 高額介護合算療養費及び医療費通知について ～

■ 高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、「病院にかかったとき」と「介護サービスを利用したとき」の**１年分の自己負担額の合計が表の基準額（限度額）を超えた場合**は、超えた額が「高額介護合算療養費」として支給されます。

○後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが０円の場合は対象となりません。

○支給額が500円未満の場合は支給されません。

◆ 自己負担限度額表

【１年分の自己負担額の計算期間：８月１日～翌年７月31日】

負担割合	区　　分		自己負担額の合計の基準額
３割	現役並み所得者		６７万円
１割	一般		５６万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ（※１）	３１万円
		区分Ⅰ（※２）	１９万円

※１　世帯全員が住民税非課税である方

※２　世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が０円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

申請書が届きましたら、住民課住民グループで手続きを行ってください。

給付の時効について

保険給付を受ける権利は、法律により２年間と定められております。期間を過ぎると給付を受けることができなくなりますので、忘れずに申請してください。

■ 医療費通知の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、被保険者の皆様に健康や医療に対する理解を深めていただくために、皆様の医療費を半年ごとにまとめ、発行をご希望の方を対象に医療費通知を送付しています。次回の発行は、３月（平成23年７～12月の医療費を対象）に行います。

◆ 新たに発行をご希望の方はご連絡ください

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合または住民課住民グループへご連絡ください。（電話で手続きできます）

○すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方につきましては、継続して発行しますので、改めてご連絡いただく必要はありません。

※医療費通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

お問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合 〒060-0062 札幌市中央区南２条西14丁目　国保会館６階 電話　０１１－２９０－５６０１	住民課住民グループ（直通） 電話　６７－２４９３

平成24年４月から

放課後児童クラブを利用する児童を募集します

保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後に遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を支援する放課後児童クラブの利用児童を募集します。

■対象児童・募集人員

中札内：小学校１年生～４年生　50人

上札内：小学校１年生～６年生　20人

■場　所

中札内：児童館　　上札内：公民館

■利用料

１人　月額３，０００円

おやつ代　中札内２，０００円

上札内１，０００円

■募集期間

１月13日(金)～１月27日(金)

■申込書の提出先

福祉課福祉グループ(保健センター内)

社会福祉協議会(児童館内)

フロンティア会議(公民館内)

■利用時間

	中札内	上札内
月曜日～金曜日（祝日除く）	午後１時～午後５時30分	午後１時～午後５時
土曜日、春・夏・冬休みなど	午前８時30分～午後５時30分	午前８時30分～午後５時
延長利用	午後５時30分～午後６時30分	

※延長利用は、保護者が就労(通勤含む)している場合のみ利用できます。

■その他

申込書は１月11日(水)から保健センター・児童館・公民館で配布しますのでご利用ください。

■お問い合わせ

福祉課福祉グループ　TEL(67)2321

灯油などの購入費用を助成します

冬期間を迎え、灯油価格の高騰が生活に影響を与えていることから、高齢者世帯などに対し灯油などの購入費用を助成するため、『燃料購入券』を交付しています。

■対象の世帯

平成23年12月１日現在で本村に居住している、**村民税非課税世帯**で次の世帯の方が対象となり、対象世帯へは村から案内をしています。

●高齢者世帯
年齢が65歳以上で構成されている世帯
(一人暮らしの方、夫婦世帯の方、親子世帯の方など)

●障がい者世帯
障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳)の所持者がいる世帯

●ひとり親世帯

●生活保護世帯

※平成23年１月１日以降に転入された方は、前住地の住民税が非課税であることが確認できる書類を持参のうえ申請願います。

■助成額

一世帯あたり、灯油150リットル分の購入費用に相当する額分を『燃料購入券』で助成します。

(支給単価は平成23年12月１日現在の村内平均単価)

■燃料購入券

申請の受付後、助成の決定をされた方には『燃料購入券』をお渡しいたします。

この購入券で村と販売協定を締結している村内の燃料販売業者から、燃料(灯油、石炭、薪等)を購入することが出来ます。

＜村内販売業者＞

・ホクレン中札内給油所　・中保石油
・奥井商会中札内給油所　・井脇商店
・㈲昭和熱器工業　・十勝広域森林組合

(オール電化住宅にお住まいの場合は、購入券の代わりに現金を指定された口座に振込みいたします。)

■申請方法

・該当者に申請用紙を送付していますので申請してください。
・申請には印鑑が必要です。

■申請期間

１月31日(火)まで

■お問い合わせ

案内がない方で該当すると思われる方は、福祉課福祉グループ　TEL(67)2321まで

中札内村総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会の名称が「中札内ピータンスポーツクラブ」に決定！

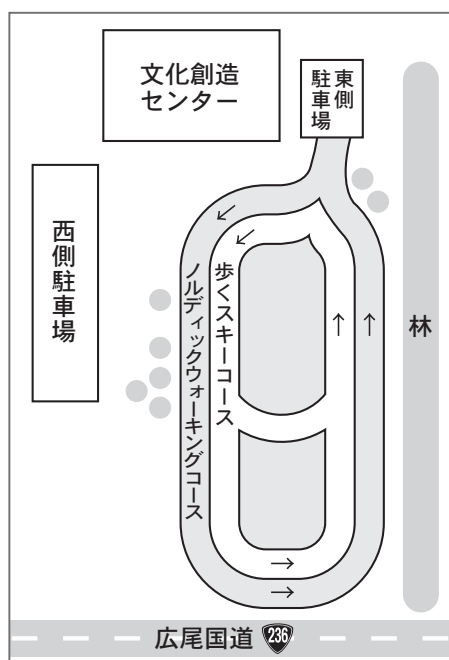
村では、平成24年度のスポーツクラブ設立に向けて、平成22年４月に設立準備委員会を発足し準備を進めてきました。

準備委員会では、スポーツクラブの名称について、村民皆様に応募いただいた中から、協議選考した結果、餌取（えとり）勇吾さん(めぐみ区)が名付けた「中札内ピータンスポーツクラブ」に決定し、11月29日には準備委員会小山秀樹委員長から記念品が渡されました。

後列左から小山委員長と餌取さん
通学合宿のメンバーと撮影（公民館）

歩くスキーコース及びノルディックウォーキングのコースを作成します

総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会では、季節に関係なく手軽に楽しめる「ノルディックウォーキング」を村のスポーツとして定着させたいと考えています。

ノルディックウォーキングは、２本の専用ポールを使ってウォーキングするため、普通にウォーキングするよりも消費カロリーが約30％増えます。また、足腰や膝等にかかる負担が軽減されるため、高齢者の方にもお勧めの運動です。

教育委員会では、毎年開放する歩くスキーコースに合わせて、ノルディックウォーキングコースを作成しますので、気軽にご利用ください。

※１月から開放予定ですが、降雪量によっては使用できない場合がありますので、ご了承ください。

文化創造センター
東側駐車場
西側駐車場
歩くスキーコース
ノルディックウォーキングコース
林
広尾国道 236

総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会の行事予定

ドライブ・カットの基本をおぼえよう！
『卓球教室』

◆日　時　１月28日(土)
午後１時～午後３時20分
◆場　所　中札内交流の杜　体育館
◆参加料　１００円(保険代)
【当日受付時にいただきます】
◆対　象　小学４年生以上
◆定　員　２５名
◆講　師　帯広卓球連盟
会長　亀掛川（きけがわ）　正　義　氏
高　木　良　則　氏
※講師は急きょ変更になる場合があります。
◆お申込み　１月26日(木)までに設立準備委員会事務局
(教育委員会内　TEL(67)2929)

岩田良子さん講習会・講演会
『バトミントン教室』

岩田さんは、ヨネックスバドミントン部に所属し、2000年のシドニーオリンピックに出場、女子ダブルスでベスト16に輝いた方です。

＝講演会＝
◆日　時　２月４日(土)
午後６時～午後７時30分
◆場　所　文化創造センター
ハーモニーホール

＝講習会＝
◆日　時　２月５日(日)
午前10時～午後４時
◆場　所　交流の杜
◆参加料　２００円
※保険に加入されていない方は、保険代１００円を別途いただきます。
◆お申込み　２月１日(水)までに設立準備委員会事務局
(教育委員会内　TEL(67)2929)

平成23年度 スポーツ・文化賞などの候補者の推薦を受け付けています

村では、村奨励表彰などの候補者の推薦を受け付けています。それぞれ期日までに推薦をお願いします。

（推薦事由に該当した新聞報道又は大会のパンフレット等を推薦書に添付してください）

表彰基準は、村内に在住している方もしくは父母が村内に在住している方、または、村外に住んでいる方で、本村の団体に所属している方です。

●村奨励表彰（スポーツ）

・各種スポーツ大会において、個人・団体で全道優勝、または、全国大会3位以内の成績を収めた人

・世界大会（世界選手権、ワールドカップ、オリンピック等）に出場した人

※小学生、中学生、高校・一般の3区分で各区分1回の受賞としますが、世界大会に出場した場合は再度受賞することが出来ます。

○推薦締切　2月3日（金）

○推薦受付・お問い合わせ

総務課総務グループ

TEL（67）2311

●スポーツ賞及び奨励賞、ジュニアスポーツ賞及び奨励賞

・個人及び団体で十勝大会優勝（ジュニアの小・中学生の場合は3位以内）の成績を収めた人

・個人及び団体で全道・全国大会6位以内の入賞者

・個人及び団体で世界大会に出場した人

※同一の要件において村表彰条例で受賞したことがある人は対象外ですが、ジュニアの場合は過去に受賞した人も再度受賞できます。

・スポーツに関する功績（本村のスポーツ振興に顕著な功績が認められる個人及び団体）

●ジュニア文化賞及び奨励賞

・個人及び団体で十勝大会優勝（最優秀賞、金賞等）の成績を収めた人

・個人及び団体で全道大会入賞（概ね6位まで）の成績を収めた人

・個人及び団体で全国大会入賞（概ね6位まで）の成績を収めた人

・個人及び団体で国際大会に出場した人

○推薦締切　2月3日（金）

○推薦受付・お問い合わせ

教育委員会　TEL（67）2929

★表彰式★

○日時　3月8日（木）　午後4時～

○場所　文化創造センター

★ジュニア（小・中学生）に係る奨励賞の表彰基準が変わります

今年度の表彰からジュニア（スポーツ・文化）奨励賞に授賞制限（回数制限）を設けました。

●改正内容

ジュニア（スポーツ・文化）奨励賞については、①小学校低学年（1～3年）で1回、②小学校高学年（4～6年）で1回、③中学校で1回の授賞制限を設けました。

※ジュニアスポーツ賞、ジュニア文化賞は、従来どおり何度でも授賞可能です。

（例）奨励賞の授賞例

①昨年度、小学3年生で授賞し、今年度（4年生）→「授賞可能」

②昨年度、小学4年生または小学5年生で授賞し、今年度（5年生または6年生）→「授賞できない」

※ただし、②の場合であっても、次のような場合は授賞可能です。

・昨年度、個人で授賞したが、今年度は団体で該当となる場合（逆の場合も可能）

（例：昨年度は、陸上の個人種目で授賞したが、今年度は陸上の団体種目で授賞する場合（逆の場合も可能））

・競技種目が異なる場合

（例：昨年度は、水泳で授賞したが、今年度はスピードスケートで授賞する場合）

新しい監査委員に木村誠さんを選任

任期満了に伴う、村監査委員の選任について、10月25日開会の第5回臨時議会において議会の同意を受けました。

木村さん（ときわ野）は、平成22年に中札内村に移住され「健全な財政によって、将来も美しく住みやすい中札内村を守っていきたい」と就任にあたり抱負を語ってくれました。

12月の図書館からおすすめ図書

Library

児童
「怪談図書館５　死神からのメール」

マリエのケータイに、奇妙なメールが次々に届く。不気味なメールの主はいったいだれ…？！
忍び寄る恐怖が病みつきの怪談短編集。すぐ隣にひそむ恐怖、怪異な話が満載です。迫力満点のイラストがさらに恐怖を増殖させます。１～５巻が入りましたのでぜひ読んでみてください。

一般
「ご先祖様はどちら様」
髙橋　秀実／著

役所で戸籍にあたり、家計図や家紋を調べ、祖先の土地を訪れ自分似の遠縁と出会い、源平にまでたどり着く。自身を起点に天文学的に広がる家系図の森に入り込んでいく様子が穏やかな文体で描かれた、著者自身のルーツを探るノンフィクションです。

新しく入った本

【一　般】
「暗闇で踊れ」　馳　星周
「ジェントルマン」　山田　詠美
「聖書男」　A・J・ジェイコブズ
「人生がときめく片づけの魔法」　近藤麻理恵
「看取りの作法」　香山　リカ

【児　童】
「メイはなんにもこわくない」　あべ　弘士
「つんつくせんせいかめにのる」　たかどのほうこ
「どこいったん」　ジョン・クラッセン
「たったひとつのねがいごと」　バーバラ・マクリントック
「こども大図鑑人体」　リチャード・ウォーカー
他多数

★貸出中の本は予約できます。また、ホームページにも新着図書一覧を掲載しています。

図書館からのお知らせ

＊土曜日おはなし会＊
◆日　時　１月14日・28日(土)
午前10時30分～11時00分
◆場　所　図書館内　おはなしるーむ

＊としょかんスタンプラリー＊
１日１回本を借りて、シールをためよう！たまったシールごとにプレゼントがあるよ♪
◆期　間　１月16日(月)まで
◆申　込　図書館カウンター

夏川りみコンサートツアー

～ぬちぐすい石垣島　みみぐすい島唄～

みなさまのお越しをお待ちしております。
●日　時　２月11日(土)　開場　午後６時30分
開演　午後７時00分
●場　所　文化創造センター　ハーモニーホール
●入場料　前売　3,000円　　当日　3,500円
※就学前のお子さまは入場できませんのでご了承ください。
主　催　アミューズ・シアター
後　援　中札内村、中札内村教育委員会
企画制作　SOGO、ビクター・ミュージックアーツ株式会社
協　力　ビクターエンターテイメント株式会社

●チケット取扱い・お問合わせ
アミューズシアター会員または中札内村教育委員会
(TEL(67)2929)

体育指導委員杯　兼　村民スポーツ大会

『フロアカーリング大会』

◆日　時　１月23日(月)24日(火)　午後６時30分～
◆場　所　中札内高等養護学校体育館
◆競技方法　予選リーグ・決勝トーナメント
(参加状況により変更あり)
◆チーム編成　４～６人(男女年齢問わず)
◆お申込み　１月13日(金)行政区体育部長または教育委員会まで

村民スポーツ大会

『ミニバレー大会』

◆日　時　１月22日(日)　午前９時30分～
◆場　所　村民体育館　２階アリーナ
◆競技方法　予選リーグ・決勝トーナメント
(参加状況により変更あり)
◆チーム編成　１チーム６人以内(選手４・補欠２)
男女混成の部(女子が必ず１名出場)
◆お申込み　１月12日(木)までに各行政区体育部長へ
◆監督会議　当日、午前９時15分～村民体育館にて
※準備の都合上、大会当日の参加申込みはできませんので、ご注意ください。

ふるさと中札内村を想う
東京・中札内ふるさと会総会

中札内村に住んでいた方やゆかりのある方などで構成される「東京・中札内ふるさと会」の総会と交流会が12月３日、東京都内で開かれ、村からも関係者９名が出席しました。
総会では、平成24年度が役員改選の年にあたることから新役員の紹介が行なわれ、全ての議案が承認されました。
その後の交流会では、余興を楽しみながら昔話に花を咲かせ、ふるさとの思い出を語り合い、楽しいひと時を過ごしました。

税の意義や役割について考えよう！
中学生の「税についての作文」で表彰

中学生の「税についての作文」で管内応募総数1,530編の中から中札内中学校３年生の作品が賞を受賞し、11月25日、中札内中学校で表彰式が行なわれました。これは、税についての正しい理解と、税に対する関心を深めてもらうことを目的に国税庁及び全国納税貯蓄組合連合会が主催となり実施しているものです。
髙橋みかさんが「税金は社会参加への会費」と題した作文で帯広地区納税貯蓄組合連合会会長賞を、小田中春陽さんが中札内青色申告会会長賞を、戸水かんなさんが帯広地方法人会中札内地区会会長賞をそれぞれ受賞しました。

左から、髙橋さん、戸水さん、小田中さん

カメラルポ

CHEESE!

良い１年になることを願って
手作りのしめ飾りを寄贈

12月19日、農家の女性でつくる生活経営推進グループ（垰田佐賀子代表）が心を込めて制作した「しめ飾り」」が村に寄贈されました。
宝船をイメージした「しめ飾り」は、旧年中の不浄を清め、今年も村に福を迎えるようにと役場庁舎の入り口に飾られました。

中札内村商工会
設立50周年記念の集いを開催

11月21日、中札内村商工会の設立50周年「記念の集い」の式典・祝賀会が商工会館２階研修室で開催されました。
式典には、村内の商工会会員のほか管内の商工会関係者などが出席し50周年を祝いました。佐竹会長が「今後も100周年に向けて努力を惜しまないでいきたい」と式辞を述べたあと、永年継続事業所（創業して50年を越える事業所）の表彰、功労者表彰として歴代会長や役員に表彰が行なわれ、受賞者を代表して真鍋和清さんが謝辞を述べられました。

ペアになって対局中
（囲碁フェスティバル）

暮らしの告知板

役場　☎(代)67-2311
保健センター　67-2321
教育委員会　67-2929

お知らせ

帯広市社会福祉協議会

福祉職場説明会

帯広市社会福祉協議会では、就職活動に役立つセミナー&福祉職場の人事担当者との直接面談・相談会を開催します。福祉のお仕事をしたい方、興味のある方はぜひご参加ください。

●**日　時**　平成24年1月25日(水)
午前10時～午後3時30分

●**内　容**

【午前の部】午前10時～午後0時
就活応援セミナー（申込必要、先着順、1月19日まで）
「色の力でキラキラ生活☆カラーセラピーに学ぶセルフケアとコミュニケーション」

・**講　師**　中田　哉子　氏（株式会社トゥルーカラーズ代表）

・**定　員**　30名

【午後の部】午後1時～3時30分
（受付午後3時まで）
個別面談・相談会（申込不要、入退場自由）
福祉職場の人事担当者との面談、相談員による就職相談

●**参加費**　無料

●**申込・お問い合わせ**
帯広市社会福祉協議会　帯広市福祉人材バンク
〒080-0847
帯広市公園東町3丁目9番地1
帯広市グリーンプラザ内
TEL(27)2525
FAX(21)2415

お知らせ

新成人のみなさんへ

国民年金に加入されていますか

日本に住む20歳から60歳までのすべての人は、国民年金制度に加入しなければなりません。

学生や自営業者、フリーターの方は国民年金第1号被保険者で、20歳になる際に年金手帳が送付されます。年金手帳の基礎年金番号は生涯使いますので大切に保管してください。

第2号被保険者である厚生年金、共済年金加入者が仕事をやめて第1号被保険者となる場合は、必ず役場で手続きを行なってください。

【源泉徴収票の送付について】

老齢年金は所得税法上の雑所得として課税対象となっています。そのため、老齢年金を受けている方には1月下旬に「源泉徴収票」が送付されますので確定申告の際に提出してください。

年金の支払額が108万円(65歳以上は158万円)以上の方について所得税が源泉徴収されます。なお、障害年金、遺族年金は非課税ですので源泉徴収票は送付されません。

お知らせ

住民課住民グループ

狩猟免許試験のご案内

平成23年度第4回狩猟免許試験が次の日程で実施されます。

近年はエゾシカによる農業被害の増加を受けて『くくりわな』設置を考える農業者の受験が多くなっています。

本村でもエゾシカによる農業被害が深刻さを増していることから、是非この機会に狩猟免許を取得してみてください。

《狩猟免許試験》

●**日　時**　平成24年2月5日(日)
午前9時～

●**会　場**　十勝総合振興局

●**試験の内容**　網猟・わな猟・第一種及び第二種銃猟免許

●**申請手数料**　5，200円

●**申込方法**　平成24年1月27日まで（郵送の場合は1月30日必着）に申請書等を十勝総合振興局環境生活課自然環境係へ提出

《予備講習》

（社）北海道猟友会では、狩猟免許試験を受ける方のために予備講習を実施しています。

●**日　時**　平成24年1月29日(日)
午前9時15分～

●**会　場**　帯広市　東コミセン

●**講習の内容**　法令講義・鳥獣の判別・猟具の取扱い・実技

●**講習料**　5，000円（網・わな猟）
7，500円（銃猟）

●**申込方法**
講習日の7日前までに、猟友会帯広支部に現金と共に申込書を持参するか現金書留で郵送

※狩猟免許試験及び予備講習の詳細及び申請書などの書類については、**役場住民課住民グループ(TEL(67)2493)**にありますので必ず内容を確認して申込手続をしてください。

※本村に住所を有する方で、農業経営者及びその家族が有害鳥獣の捕獲のために免許を取得する場合は免許取得に係る費用に対する支援制度があります。

中札内消防団出初式

●**日　時**　1月6日(金)午前11時～
中札内神社・保健センター
※11時15分頃から、村民体育館前で分列行進を行います。
みなさんのご参観をお待ちしています。

季節労働者の雇用対策

募集

作業員を募集

村では、季節労働者で作業期間中、失業している方を対象に雑木処理などの作業員14名を募集します。

●対象者

村内に住所のある方で、雇用保険特例一時金の受給資格者（短期雇用特例被保険者）

●作業の期間

2月6日(月)から10日間程度（土日除く）です。

※作業日数は、応募者数により変わります。

●雇用条件

・勤務時間　1日7時間程度

・賃金　1日9，000円

●申込方法

就労を希望される方は、1月6日から24日までに「雇用保険特例受給資格者証」等を持参のうえ、住民課住民グループへ申し込みください。

●お問い合わせ

住民課住民グループ

TEL(67)2493

■季節労働者の雇用相談窓口

○日　時　1月6日(金)、2月1日(水)午前11時～午後3時

○場　所　改善センター2階

平成24年度

お知らせ

競争入札参加資格申請（中間年）

村では、平成24年度に発注する工事・設計・委託・物品の購入などの、入札に参加を希望する事業者の競争入札参加資格申請（指名願）を受付しています。

●部　門　①工事部門②設計・委託部門③物品部門

●受付期間

平成24年2月1日(水)～2月29日(水)

（郵送可　2月29日消印有効）

●有効期間

平成24年4月1日～平成25年3月31日

※今回の受付は新規事業者のみです。昨年申請済みの事業所は再度申請していただく必要はありません。

※申請書及び提出書類については、北海道公契連モデルを使用してください。

※複数の部門に指名願を提出される場合は、それぞれの部門ごとに提出してください。

●提出・お問い合わせ

総務課総務グループ

TEL(67)2311

内容についてはホームページにも掲載しております。

新しい中札内保育所にむけて Vol. 6

新たな保育所には、入口の近くに開放的で利用しやすい雰囲気の「交流コーナー」を設けます。

地域のサークル活動や保護者会などさまざまな用途に活用する事ができます。

また、保育所と子育て支援センターをつなぐ「通り土間」には、子どもたちの作品を展示したり、子育てに関する情報を掲示するなどし、地域のコミュニティーを子育てを通して支援していきます。

今月のトピックス

～小さな場所について～

子どもたちは小さな洞穴のような場所が大好きです。保育室や廊下の一部に小さな子ども用のスペースをつくり、室内での遊びを一層豊かなものにしていきます。

確かな選択賢い消費者㊼

＝中札内消費者協会＝

カセットコンロ　－取扱説明書をよく読み、正しい使い方を－

カートリッジガスコンロ（以下、カセットコンロ）は、テーブルの上で使えることから一般家庭でも鍋料理に広く使用されています。災害地の緊急物資としても普及していますが、一方で、カセットコンロによるやけどや火災などの事故が依然として発生しています。

カセットコンロ本体に容器を装着する方法には、磁石を利用して装着するマグネットタイプと容器カセットレバーを下げて装着するタイプがあり、基本的な構造はほとんど同じですが、高齢者など非力な方は、容器取り付けに力を必要としないマグネット式を選ぶと良いでしょう。

◎使用時の留意点

・使用前には説明書をよく読み、正しい使い方を心がけ、必ず当該カセットコンロ専用の容器を使用しましょう。

・容器（ボンベ）カバーを覆ってしまうような大きな調理器具は使用しない。

・2台以上並べて使用しない。

◎容器の保管及び廃棄時の留意点

・容器は、使用後カセットコンロから取り外しキャップをして火気を避け、湿気の少ない40℃以下の場所で保管しましょう。

・ガスは必ず使いきり、廃棄する時は市町村の処分方法に従って廃棄しましょう。

カセットコンロに限らず家電製品を多く使用するこの時期。商品の不具合や、ヒヤッとした、ハッとしたなどの情報がありましたら、中札内消費者生活相談窓口までお知らせください。

村民スポットライトリレー

今回は、西札内の堀江敏之さんにお話を伺いました。

ー最近は酪農関係の方に続けてお話を伺っているのですが、みなさん面識はあるんですか。

はい。渡辺さん（前回のキラリ☆さん）は酪農ヘルパーで来てもらったのがきっかけですが、酪農青年会議というのがあって酪農家のほかに酪農ヘルパーや削蹄師（伸びた牛の蹄（ひづめ）を削り、形を整える人）など関係団体の方も入っているので、その活動でよく顔を合わせます。

ー酪農青年会議では交流会などは何回位開催されるんですか。

多い時は年間で10回近くですね。交流会だけではなく勉強会もしますし、村内はもちろん十勝管内や札幌に視察に行くこともあります。やっぱり他の所を見るのは勉強になりますし、まねできるものは取り入れてみたりもしますね。

ー特に忙しいのはいつですか。

今は餌の収穫もコントラクター事業といって、機械化センターに作業を委託しているので1日で終わりますし、この時期が忙しいというのはあまりないですね。村はコントラクターと酪農ヘルパーと両方あるので環境は整っていると思います。酪農ヘルパーはたまに1人来て手伝うという形が多いですが、中札内では1軒に2、3人来るので家族みんなで休む事ができます。

ー一番好きな作業は？

共進会の準備をしているときですかね。牛の品評会みたいなものなんですが、その準備をしているのが一番楽しい。牛を洗ったり調教したり、審査では体型が重要になります。

ー仕事をする中で大事にしていることを教えてください。

種付けや病気の関係など少しでも個体を見るようにしようと思っています。あとは、地に足をつけて、みんなに安心して飲んでもらえる牛乳を作っていくという事を大事にしています。

ーありがとうございました。次の方を紹介していただけますか。

6区の坂上誠之介さんです。

今月のキラリ☆さんは

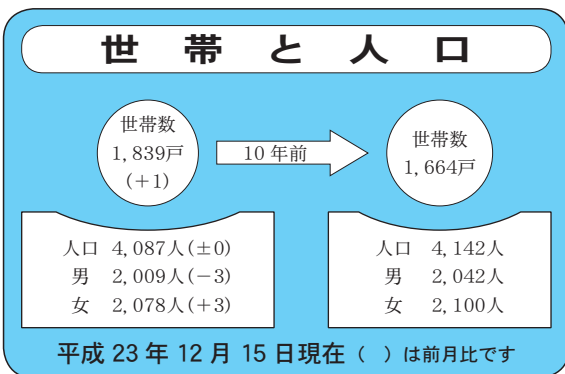
堀江　敏之（としゆき）さん（西札内）

ご出生おめでとう

松野　莉子（りこ）ちゃん～　安利　未奈登（めぐみ区）

西　彩太（あやた）ちゃん～　良太郎　千沙（南常盤）

山本　橙（だい）ちゃん～　学　えり奈（めぐみ区）

門屋　手織（ており）ちゃん～　祐二　聡美（常盤）

ご結婚おめでとう

宮部　友輔さん（東戸蔦1）

（栗村奈緒子さん（帯広市））

鎌田　修さん（協和）

（嶋崎真里奈さん（石川県））

ご寄付ありがとう

・協和　大谷　ちゑ子　様

夫（勝美）が生前お世話になったお礼に

世帯と人口

	現在	10年前
世帯数	1,839戸（＋1）	1,664戸
人口	4,087人（±0）	4,142人
男	2,009人（−3）	2,042人
女	2,078人（＋3）	2,100人

平成23年12月15日現在（　）は前月比です